



平成29年 1月10日(火)例会(第2657回)報告(雨) No.2485

出席率... 32/43 74.44% 第2655回補正出席率... 43/47 91.49%

欠席者 小坂、高浪、中田、浜田(貴)、福岡、堀田、増谷、松本(勝)、三輪、村山、渡辺(昇)

メイクアップ(理事会) 11名

出席免除 足立、岡空、小徳、坂本、渡邊(将)

◆会長時間 松本 正 会長

明けましておめでとうございます。年末最後の例会は忘年家族会でした。親睦・財団委員会の皆様、運営ありがとうございました。

山崎会員が昨年末で退会され、記念品をお届けしました。病氣と闘っておられ、由志園での夜間例会で「健康診断、病気の早期発見の大切さ」について語られたことが印象に残っています。

2日は還暦を祝って中学の同窓会があり80名近く集まりました。45年ぶりに会った人もあり、大変懐かしく思いました。4日から境港市「新春の集い」で始まり、新年の挨拶、新年会、そして昨日は総社の最上稲荷へお参りしました。我社の神棚には商売繁盛を願って最上稲荷が祀られています。毎年正月にお参りしていますが、氏神様である余子神社のお礼も貰っています。

◆幹事報告 細田 淑人 幹事

◎米子東RCより「合同例会ご案内」◎庄司G事務所より「財団100周年シンポ新聞掲載の報告」「地区大会記念映像ディスク」

◎「職業奉仕月間ご案内」「財団室ニュース1月号」「ハイライトよねやま第201号」「R友委員会2015-16年度事業報告」◎1月レポート1\$=116円 ◎次週は移動例会→市民会館大会議室

◆臨時理事会報告 細田 淑人 幹事

◎田淵英志会員の退会届について→承認(12/28付)

◆例会変更(受付=ビジター受付、定刻)

☆米子南RC 1/16(月) 1/13に変更 受付: 米子全日空H

☆米子中央RC 1/19(木) 夜間例会 受付: 米子全日空H

☆米子RC 1/13(木) 1/9に変更 受付: 米子全日空H

◆1月・2月行事予定(1月:職業奉仕月間)

1/22(日) 米山奨学生面接選考会(9時~ 米子全日空H)

2/7(火) 休会(第2G合同例会に振替)

8(水) 第2G合同例会(18:30~ 米子全日空H)

1月結婚祝

16日 川端 廣 31日 内田幸二 各会員



年男祝(酉年)

昭和8年 藤瀬秀親

20年 松本雄次 八木橋柳一

32年 堀田 收 松本 正

小林 哲

44年 前根伸彦

各会員



◆委員会報告

◎親睦委員会...谷田真基 委員長

年末の忘年家族会にはご家族お揃いで多数のご参加を頂き、大変ありがとうございました。

—スマイルBOX—

◎結婚祝 川端、内田 ◎年男祝 藤瀬、松本(雄)、八木橋、松本(正)、小林、前根 ◎金杯で乾杯 松本(雄) ◎昨年末は目玉商品を2つも頂き、ありがとうございました。本年もよろしくお願ひ致します。三輪【新年おめでとうございませう】庄司、木村、浜田(一)、松井 ○本年もよろしくお願ひします 酒井(博)、北國 ○地区大会DVD表紙のモデルになりました 酒井(英) ◎穏やかな1年となることを願って 川田 ◎1/10は110番の日。ただし相談事は#9110番へお願ひします。今年もよろしく! 増谷 ◎早退します 小林

◎「ロータリーの友1月号」紹介...小林 哲 雑誌・広報副委員長

—プログラム「年男卓話(酉年) その1」—

藤瀬秀親 会員

昭和8年に生まれ84年の人生である。初めての年男はS20年、福岡県で育った私は中学一年生だった。B29の襲来に迎え撃つ日本の戦闘機は歯が立たず落ちていく!もう負けると感じた。敗戦後は食糧難が強烈だった。2回目の年男はS32年、医学部を卒業して社会に出た。大学の医局での生活は収入がなく生活苦に追い回された。現代とは雲泥の差だ。3回目はS44年だが、S43年に医院を開業し日夜を問わず忙しく働き、家庭を顧みる暇もなかった。4回目はS56年、開業して10年。何のために働くのかと思い、リフレッシュのため初めてハワイに行った。5回目はH5年だが、H7年に長男の交通事故死があり茫然自失。しかし、5年前より四男が病院を継いでくれた。6回目はH17年、思い出すことがない。そして今年、大病無く生きてこられたことに感謝しまだまだ元気で生きてゆこうと思う。



松本雄次 会員

最近のマスコミで報じられている文言に『高齢』『終活』『健康寿命』等の言葉を見かけることが多い。72才の年男にとって、平均寿命80才時代の今普通なら、あと8年が余命かと思うと今何をすべきかはかなり重い課題です。『老い』は誰しも忍び寄るものと思いつつも、真剣に『終活』を考える時期に至ったと覚悟しなければと思う。何が良い生き方は判らない。それぞれの生命を『仕事』を通じ何らかの貢献を社会にしてきたことが誇りなのかもしれない。誰の世話にもならず、健康でいることが至上の願いでもある。



さて、今年は紀立2677丁酉年である。古来、鳥は躍動・飛翔の動物であるが故、翔き・革命を今年は意味する年です。

日本の文化芸術の世界でも、鳥羽僧正の『鳥獸戯画』、狩野探幽の『鳳凰図』、野々村仁清の『鶴の香合』、伊藤若冲の『群鶏図』、柿右衛門の『燕図』、古くは天武天皇にちなんだ『八咫鳥図』、オシドリ、サギ、ツバメ、キジ、ツルなど太陽神である鳥への信仰は古事記・日本書紀時代から多く語りつがれている。

皆様にとって本年がより『飛翔』の年であることを祈り、ご挨拶といたします。

八木橋柳一 会員

保護司は法務大臣から委託を受けたボランティアで活動している国家公務員です。具体的には、①不幸にして非行や罪を犯し保護観察になった人と面接を行い、指導・助言して校正を助けること。②刑務所や少年院にいる人が、施設を出た後に帰る場所の環境を調整すること。③犯罪や非行を予防するために、地域で啓発活動すること。④保護司活動に必要な関係者や協力者とのネットワーク作りをすること。等の活動を行っています。



現在私はボランティア関係の7団体に所属しておりますが、今後も微力ではありますが、地域の安心・安全を守る活動を続けたいと思います。

今回(1月17日)プログラム

「年男卓話②」(会場:境港市民会館) 堀田、松本(正)、小林、前根 各会員

次回(1月24日)プログラム

「青く燃える」 境港青年会議所 理事長 遠藤大輔 氏